



平成 28 年 4 月 27 日

各 位

上場会社名 太平洋興発株式会社
 代表者 代表取締役社長 佐藤 幹介
 (コード番号 8835)
 問合せ先責任者 常務取締役管理部門統括 板垣 好紀
 (TEL 03-5830-1602)

業績予想の修正及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 5 月 14 日に公表した業績予想を、下記のとおり修正するとともに、特別損失（減損損失）の計上を行うことといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	29,000	700	600	400	5.14
今回修正予想 (B)	29,400	750	630	210	2.70
増 減 額 (B - A)	400	50	30	△190	
増 減 率 (%)	1.4	7.1	5.0	△47.5	
(参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	30,202	674	584	211	2.72

(2) 平成 28 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,500	350	270	3.47
今回修正予想 (B)	18,000	450	290	3.73
増 減 額 (B - A)	△500	100	20	
増 減 率 (%)	△2.7	28.6	7.4	
(参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	17,958	419	285	3.67

(3) 修正の理由

平成 28 年 3 月期の個別業績の売上高に関しましては、輸入炭の販売数量が計画を下回ったこと及び石油の販売単価が下落し減収となったものの、連結業績の売上高に関しましては、連結子会社の建設工事の受注が増えたこと等の理由により、増収となる見込みです。

また、連結業績の営業利益及び経常利益に関しましては、有料老人ホームを運営する連結子会社 2 社（㈱太平洋シルバーサービス及び㈱太平洋シルバーサービス北海道）につきましては、稼働率が計画を下回ったこと等により大きく減少しましたが、個別の賃貸事業の稼働率向上及び一般管理費が減少したこと、加えて上記連結子会社 2 社以外の連結子会社の利益が総じて計画を上回ったため、当初予想を若干上回る見込みとなりました。

しかしながら、親会社株主に帰属する当期純利益に関しましては、有料老人ホームを運営する連結子会社 2 社が減損損失を計上したこと及び過去に分譲したマンション 1 棟の完成工事補償引当金を計上したこと等により、当初予想数値を下回る見込みとなりました。

なお、配当につきましては、期初計画どおり 1 株当たり年間 2 円 50 銭を予定しております。

2. 特別損失（減損損失）計上の理由

現在の事業環境を踏まえ、㈱太平洋シルバーサービス及び㈱太平洋シルバーサービス北海道が運営する有料老人ホーム施設の一部について、営業活動から生じる損益が継続してマイナスであり、今後も収益改善に時間を要することと判断されたことから、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減損し、減少額を減損損失としてとして特別損失に 137 百万円計上を行うこととなりました。

(内訳)

場所	用途	種類	減損損失計上額
東京都武蔵野市他	有料老人ホーム施設	建物及び構築物他	108 百万円
北海道釧路市、帯広市	有料老人ホーム施設	建物及び構築物他	28 百万円

以 上